



県立近代美術館「サム・フランシス展」

特集 / まちづくり.....P.6

エッセイ / 小泉 博

「フラワーカーニバルの審査から」——表紙2

PIN UP TOYAMA

6月の花嫁——P.12

TRIP 県政

富山県の住宅政策——P.14

ふるさとみてある記

大門町——P.16

シリーズ:とやま心象③

まちなみ——表紙3

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

1988
No.233

6

フラワーカーニバルの審査から

小泉 博 (県芸術文化協会事務局長
劇団文芸座主宰)



外国語がまるでダメな私だが、よく外国へ出掛ける機会がある。歴史や文化の違い、とりわけ国の体制の違いによって、私が非常識と思っていることが常識であったり、相手に裏返した観念でとらえられたりして当惑させられることがザラにある。この頃は言葉がダメなら、せめてその辺りの頭の切り替えでも柔軟にしようとして努力している。

三年前に私は、富山の舞踊、華道、書の人たちとともに、ハンガリーのデブレツェンに招かれ、フラワーカーニバルの審査員をやらされたことがあった。カーニバルの主役である花車の審査は、有名女優、作家、ニュースキャスターなど七人の審査員が、何万もの花材を使って最後の仕上げに懸命な花車の製作現場へ事前審査に向くことからはじまる。

審査に行く先さきで、審査員に対して凄じ響応が待っているのに、まずびっくり。別室にはテーブル一杯に馳走が並び、名物のフォアグラ(鷲鳥の肝)やラントット・ペーカー・ツオンボ(蛙の足のフライ)が赤や黄や緑の新鮮なパブリカで綺麗に飾りつけられ「王のワイン・ワインの王」トカイワインで審査員一行を接待してくれるのである。

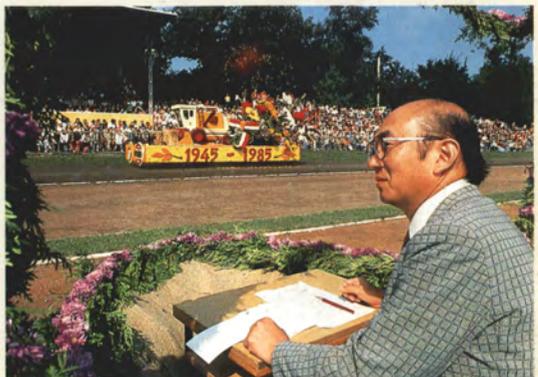
審査する側とされる側が、審査の最中

に仲睦まじくグラスを交わすという日本では絶対にあり得ないことが平然と行われる。

四・五ヶ所も廻ると酔が廻り、ゲップが込み上げてくる。相手もそれを十分承知しているらしく、次第に飲み食いもなくなり、それでホッとしていると、なんと帰りにおみやげをくれたのには呆れた。そんな訳だから、とても二十ヶ所もある製作現場の花車を全部審査できるはずもなく、夜が更けると途中で打ち切り。「そんなことで大丈夫なのですか?」と聞いた「あしたパレードで審査できるから」との答えに私は啞然としてしまった。もし、あれが日本だったら、それこそ大騒動。翌朝の新聞はトップに大見出し付きで、審査員の不正と癒着を糾弾し、市民からの非難の声で、とてもフラワーカーニバルどころではあるまい。

寝付きの悪い一夜を明かした私は、あの盛大なものでなしによって、審査員がどのように配点で手心を加えるか大きな関心をもって審査に臨んだ。

だがそれは、まさにゲスの勘ぐり以外のなにものでもなかった。色とりどりに美しく飾りつけた二十台の花車の最終審査が終わって、私の手許に届けられた各審査員のつけた採点順位は、前夜の接待



や贈物の影響は皆無で、誰の目にも納得のいく公正なものであった。

私は固定観念でしか相手を推し量れなかった自分が恥ずかかった。ところが花車の審査とは別に、パフォーマンスの審査になると、審査中に審査員のAさんが「あの先頭にいるのが私の娘だ」とさかんに自分の娘のグループを審査員たちに宣伝したせいか(?),それが高得点で見事に入賞。

Aさんが最高点をつけたのに対し、唯ひとり落第点をつけた私は、発表された審査の集計表を見て実に嫌な思いをしたことが未だに忘れられない。

ことほどさように私にとって外国は何回行っても、誠に不可解でフレキシブルな頭脳を持たないと閉口することが多い。



ダンスが好きで、歌が好きで、芝居が好きで。

とやま賞 剣幸(つるぎのみゆき)さん

〈写真上は、宝塚歌劇「南の哀愁」で主役ジョンを演じる剣幸さん(左)〉

「すごく幸せです。宝塚にトップは四人いますが、たまたま富山の出身だということとていただけで、身に余る光栄です。各分野で活躍し、将来性が期待される人に贈られる富山賞。今年度は、宝塚歌劇月組のトップスター剣幸さんをはじめ、五名に贈られました。

剣さんは、富山市出身。富山工業高校時代に演劇部に所属し、ダンスも歌も芝居もやりたい、と卒業後難関をくぐり抜け、宝塚音楽学校に入学しました。

「何もできずに入ったので、とても苦勞しましたが、あつという間に十六年たつて負だし、やりたいことがありすぎて、今は無我夢中です。」とてもエネルギッシュです。

「小さい頃から体を動かすことが好きで、よく活発だと言われましてけど、実は頑固なんです。こうと思つたら絶対に引きませんから。」と言つて笑う剣さん。とても気さくで快活で、知る人によれば高校時代と全く変わらないとか。

「富山は、いちばん気持ちいいホッとする所。一週間くらいゆつくりできれば。」しかし、トップの身ではままならず、今回も公演の合間を縫つての

あいさつ回ります。

「富山でも、宝塚に限らず、もつといろんな舞台が見られるようになればいいですね。いいものは心に残りますし、財産になりますから。機会があればまた富山でも公演したいですね。」

「宝塚は夢を売る世界。最高の仕事です。」と言う剣さんは、今、絶好調です。



全国初、カレンダー花壇オープン

——素適だね、花で知る日付け



四月二十三日、県内に三つの花壇が登場しました。毎日の日付けを花で表わすカレンダーになっており、全国でも初めて。花壇を構成する二百七十個のポットを毎朝組み替えて年月日を浮かび上がらせます。設置されたのは、JR富山駅、高岡駅、富山空港の三か所で、午前十時に一斉に開始式が行われました。



JR富山駅では、中沖知事や正橋富山市長、発案者の矢野道三さんが最後の鉢を植え込み、幼稚園児らが風船を飛ばして完成を祝いました。富山の三つの玄関口に登場したこの花壇、ピンクのペコニア、白のニチニチソウ、テランセラ、コギク、ハボタンと四季折々の花を咲かせ、目を楽しませてくれそうです。

川面を飾った、「とやまフラワーアート'88」

～チューリップデコレーション・コンテスト



ゴールデンウィークの四月二十九日～五月一日、富山市街を流れる松川にチューリップデコレーションが浮かべられました。これは、球根栽培のため、捨てられる花首を使って、県花チューリップを全国に向けてアピールしようで行われたコンテストです。

二十九日朝、公募で選ばれた小学生や高校生、職場仲間等、十四のグループが三・六メートル×一・八メートルのパネルに飾り付けをしましたが、使われたチューリップの花首は全部で約二万五千個。三時間後には、ホタテ、じゃじゃ丸、親指姫、立山等、色あ

ざやかな十四基のデコレーションができました。午後から審査が行われ、JR富山運輸所の「新幹線と雷鳥」が知事賞に輝きました。チューリップをふんだんに使える富山ならではのこのイベント、遊覧船で行き交う人々や川辺を散歩する人々を喜ばせていました。



第39回富山県植樹祭開催/5月10日



はやく大きくなれ



「あなたです。緑化の主役もう一本」をテーマに、五月十日、第三十九回富山県植樹祭が開かれました。会場となったのは入善町本村地内の黒部川河口公園。林業関係者等約千四百人が集まりました。あいさつの後、緑化功労者等の表彰が行われ、十二名四団体に表彰状や感謝状が贈られました。これに引き続き、みどりの少年団代表が「緑を愛し、緑に親しみ、緑を育てます」と誓いのことを述べ、作詞の米山みどりさん（入善町出身）を迎えて団歌を合唱しました。

最後に、「日本一の花と緑の県づくり」をめざして力いっぱい進めよう」との大会宣言が読み上げられ、植樹にうつりました。用意されたのは、クロマツ、オオシマザクラ、ハマナス等十五種。合計千三百本が参加者の手で丁寧に植えられていきました。黒部川河口公園は、河川敷を利用してあり、現在造成中。来年度には完成の予定です。

県立近代美術館入館者50万人突破

「サム・フランシス展」の鑑賞に訪れた黒田漁作さん(上市町)。



五月十四日、県立近代美術館の入館者数が五十万人を超えました。近代美術館は置県百年記念事業の一環として建設され、五十六年七月の開館以来、毎年七万人程度の入館者があったものです。これまでも新しい県民芸術文化創造のよりどころとなるよう活動してきましたが、さらに県民の皆さんに積極的に利用していただけるように、四月から図書室やロビーなど一部が無料開放となっております。なお、入館五十万人目となったのは、上市町の黒田漁作さん。現在開催中の「サム・フランシス展」を鑑賞するために訪れたところで、「ここにはよく来ていますが、突然のことです。驚きました」と嬉しそうに語っていました。

魅力あるまちづくり

高度経済成長期を経て私達の生活は物質的には豊かになりましたが、一方で伝統や潤いが失われ心の豊かさが求められるようになってきました。そして街のなかにも「やすらぎ」と「るおい」が必要とされています。

そこで、県では、富山県民総合計画の大きな柱の一つである「魅力ある郷土づくり」の一環として、道路、公園や下水道などの都市施設の整備や市街地の再開発、屋外広告物の規制・誘導をすすめるとともに、「富山県まちづく



リモデル事業」や「魅力ある都市景観づくりモデル事業」などを実施して、地域の個性や地域住民の創意工夫と活力をいかした魅力あるまちづくりを推進しています。

これらのモデル事業は、すでに福光駅前、高岡市金屋町・八丁道、富山市の松川沿いなど十八地区で実施しています。また、富山市の城址大通りなどでは無電柱化をすすめています。

その他、私たちをとりまく環境をより「るおい」のあるものとするために、「るおいキャンペーン」も行っています。これまでに、県内の優れた環境を表彰する、るおい環境とやま賞や絵画、論文等のコンクールを実施しました。

県では、今年度も引き続き、福野町寺家新屋敷など新規着手四地区を含め十七地区で魅力あるまちづくり事業を実施することとしています。

一方、地域住民が主体となったまちづくりも積極的に行われています。

富山市吉作の「コーポタウン吉作」では、住民の話し合いによって、建物の色を統一したほか、生垣やシンボルツリーを設置するなど、周辺の環境と調和のとれたまちづくりが行われています。また、八尾町諏訪町本通りや井波町八日町通りなどでは、地域の歴史・風土・文化に根ざしたまちづくりも行われています。



住むひとの

心で染めろ

街のいろ

(注)この標語は六十二年度まちづくり標語特選作品です。

六月は「まちづくり月間」です。

まちづくりに対する理解を深めていただくために、六月一日～六月三十日まで「まちづくり月間」を実施しています。皆さんも、自分が生活しているまちが、どうすればより魅力ある住みよいまちになるか、この機会に考えてみてはいかがでしょうか。

’88まちづくりシンポジウムとやま

- ◇テーマ 「住みたいまち・どんなまち」
 - ◇講演 岡 並木(都市評論家)
 - ◇開催日時 七月八日(金)午後一時～四時三十分
 - ◇会場 砺波市文化会館小ホール
- ※入場無料です。

まちづくりはひとづくりから
ついています
私たちのまち

高岡市
鑄物発祥の地に
ふさわしく

金屋町通りまちなみ委員会



三百八十年前、前田利長公が鑄物工場を開いたことに始まり、現在も約半数の家が鑄物に携わっている金屋町。昔ながらの千本格子造りの町屋が続き、藩政時代をしのげる美しいまちなみが残っています。すでに、地下埋設や軒下配線によって電柱は消え、街灯や町の玄関口の鳳鳴橋がデザイン化される、かなり整備が進んでいます。

この由緒ある町の歴史とまちなみを守り、次代に伝えていこうと、昨年五月、金屋町通りまちなみ委員会が結成されました。メンバーは、六か条からなる「金屋まちづくり憲章」を定め、まちなみ景観の保存・創出・防災等についての認識を明文化しました。

金屋町通りの特徴は、千本格子。四六〇メートルの通りに沿う百二十六戸中、五十五戸が千本格子とか、「さまのこ（千本格子）そのものを残すのが理想ですが、縛りはかけません。周囲の景観と調和したものにしてもらえれば」と委員長の新保昭一さん(60)。住民の協力がたのみです。「古いものをやみくもに残すのだけが町づくりではありません。伝統を守りながら、新しい金屋町を考えていきます」。

今後、石畳舗装や消雪装置の設置も計画されており、「鑄物発祥の地」にふさわしいまちづくりが進められています。

福光町
福光を愛する人々
LOVEふくみつ推進委員会



医王山とんび岩をかたどったモニュメント。棟方志功の版画をはめ込んだ壁画。福光駅前広場は、福光のイメージが集約されています。これを企画設計したのは、LOV

Eふくみつ推進委員会の皆さん。八年前、商工会青年部、青年会議所等を中心に、よりよい福光を考えようと結成され、以来、パネルディスプレイ、福光の未来像を求めた絵画作文コンクール等を行ってきました。

「とにかくできそうなものは、何でも楽しくやっています」と委員長船岡雅博さん

昨年、医王山を見つめ直そうと、たいまつで医王山に「L」の字を浮かび上げました。今年、隣の金沢市をまちづくりに生かそうと



「金沢ウオッチング」等を予定しています。「今は七つの推進団体が構成されていますが、建前は全町民がメンバー。でも、あまり自覚はないようですし、八年もたつと意識も薄れていきます。そこで、今年はLOVEふくみつ運動を再認識して運動マニュアルを作ることになりました。」

結成当初から会に関わっている船岡さん、「いろんな方と出会って自分が変わりました。町づくりは人づくりから。人が変われば町も変わりますよ。もっと町民を巻き込んでいきたいですね。」

今年も再出発の年のようです。

井波町
守れ、富山の奥座敷

井波の街並と景観を守る会

「歴史的環境にふさわしい町づくりに理解と協力を」と「井波の街並と景観を守る会」では、瑞泉寺門前町として栄えてきた井波の街並を自分たちの手で守ろうと、町民に呼びかけています。この会は、町民や彫刻師等七十名により、昨年十月に誕生したばかり。



「改築の話聞けば、飛んでいつて昔風の外装にとお願いする。とにかく意識の向上です」と会長の岩倉一浩さん(60)。自身の

家の外壁もトタンから木板に変えている。「木彫の町にふさわしく木を多用した家を造ればと思っているのですが、燃えやすいもの集まりになるので建築基準法等に縛られています。」

会では、この春、木彫のバス停留所表示板を作り、十か所に設置した。町内会でも各自の干支を彫った表札を作りましたし、役場でも木の案内標識を作るとか。木の看板なら井波へ、となれば伝統産業にも新局面が開けていいてすね。

井波町は、昭和五十八年に、国の伝統産業都市モデル地区整備事業対象地に指定され、瑞泉寺前の八日町通りでは石畳舗装、電柱のカラー



ホール化等が進められました。「今度は、我々住民の出番。この一本の通りを周辺に伸ばし、これに負けないようなものになりたい。小路があつて大路が生きているのですから」と岩倉さん。

「井波町は、ゆつくり前進すればいい。富山の奥座敷にふさわしい町にしていきたい。」会では、増改築や看板作成の相談にものつていきます。





つづいてます 私たちのまち

入善町

花のたえない公園に

公園管理員 嶋田久二さん

昭和四十七年に公園都市宣言をして以来、町をあげて公園づくりに取り組んでいる入善町。今では、二十七の公園ができて、六十年には緑の



都市賞「建設大臣賞」をうけました。ところで、これらの公園を管理しているのは、町や区長に委託された公園管理員。嶋田久二さん(62)もその一人。「ブラブラしとつたら頼まれて、もう一年もう一年とやっているうちに十年になりました」。彼が管理しているのは西公園。〇・三八ヘクタールの園内には花がたくさん植えられ、ゲートボールや野球もできます。

嶋田さんは、朝六時を始めとして、一日に四回は公園をのぞきます。「かわい子ちゃんが待っているからね」。公園内には池もあり、コイがエサを待っているのです。このコイ、ゴミ捨て場がわりになっていた池をきれいにしたいと嶋田さんが頼んで寄贈してもらったもの。最初はよく盗まれ、くやしい思いをしたとか。今では、ゴミを捨てる人もおらず、西公園は、嶋田さんの熱意と近所の方々の寄付等により、どこにも負けない立派な公園になっています。「美化の秘けつは毎日の清掃の積み重ね。特に便所が大切」。一番に便所の掃除をするとか。

公園の隅には、スコップ、肥料等道具がぎっしり詰まった電話ボックスがあります。いちいち家へ取りに戻ってられないからと頼んでもらったものです。こんな努力が認められ、五年前には、都市緑化功労者として建設大臣賞を受賞しました。「世の中のための奉仕。健康にしてもらうためと思えば腹も立ちませんわ。手軽にいろいろなスポーツができて、花のたえない公園にしたいです」と嶋田さん。今、花しようばや藤がともきれいです。



八尾町

おわらのはえる 住みよい町に

アメニティ倶楽部

八尾は坂の町。井田川を望む高台に広がる旧町部には古い家々が残り、特に諏訪町本通りは、昔ながらのたたずまいを見せています。

「生活の変化に家がついていけず、若い人は、どんどん狭い旧町部を出ていっていますよ」と吉田芳人さん(62)。一年半前、もつと八尾らしい快適な住まいを、と結成された「アメニティ倶楽部」のリーダーの一人です。

メンバー二十三名全員が二十、三十代の建築士というこのクラブ、まずは自分たちの町を知



ろうと、外観調査から始めました。旧町部約千軒について構造、外壁、屋根等を調べ上げ、さらに住民の声を聞くため、アンケートもとりました。

その結果、約七十パーセントの人が「今のままでよい」と愛着を示す一方で、採光や雪捨て等、とても不便を感じていることがわかりました。大半の家が間口二間(一間は約一・八メートル)奥行き十一間と細長く、隣と密着しているためです。

倶楽部では、これらをもとに八尾型モデル住宅プランや、長所短所を指摘した実例集を作り、役場の相談窓口で役立てることにしています。

「観光よりも住み良さが一番。外観は昔のイメージにはこだわりません。全体として整っておわらのはえる町並みになれば」と吉田さん。

倶楽部では、八尾和紙や地元木材を使った家づくりも考えています。「今度は、山間部や平野部も調べて、八尾型住宅を建てたいです」。

倶楽部のプランをもとに、どんな町ができるか、楽しみます。

新湊市

まちづくりは 花づくり

紺屋町園芸クラブ

朝日を受けてブルーに、夕日を浴びて赤く輝く虹色の橋。新湊市中心を流れる内川にかかる神楽橋は市民の自慢の種。四年前、立町地区の商店街を活性化しようと架けられたもので、欄干にはステンドグラスがはめ込まれ、光と色のハーモニーを奏でていきます。

そして、歩道には四季の花々。六十個ものプランターが並んでいます。これを世話しているのは、紺屋町園芸クラブの皆さん。「せっかく橋ができたからやりましょう。とクラブのおはちゃんに呼びかけたら、乗ってくれて」と世話役の生地利一さん(71)。まずは、自分達でプランターを二十個用意し、花と緑の銀行から苗をもらっ



て並べました。そのうち、世話をしてくれるのなら。と市が六十個にしてくれたとか。

クラブ員は十名。植え込み、枯れた部分の除去、肥料やりもします。「夏はすぐ乾くので、水やりが欠かせません。毎朝六時に集まって、話をしながらのんびりとやっています。ジョギングや出勤途中の人が「ごころうさま」と声をかけていってくれたり、立ち話をしたり。ふれあいの橋、いこいの橋になっています」と生地利さん。神楽橋を下りると、カラーブロックが施され、ケヤキの高木が涼しげな神楽通りに続きます。今年、この通りにもプランターが並べられ、近所の方々が世話をします。立町地区は、近所の皆さんの手で、美しい商店街になっていくこととしてしよう。

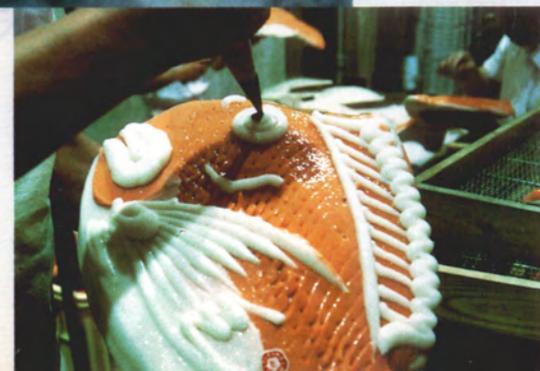




6月の花嫁
PIN-UP TOYAMA

撮影／滝川邦彦

「6月の花嫁は、幸せになる」という。
結婚の守護神ジュノーが微笑えむからだろうか、
富山では、しとしとと梅雨の雨が
花嫁をいっそういじらしくみせる。





レポーター 吉村右子さん(高岡市)

ちがういい街、あの通り 今考え、あなたの住まい

富山市月岡(県モデル住宅)&大門町吉田邸・小杉町高島邸

富山県は、持ち家率、一人当たり床面積などが全国一です。ということは、それだけ富山県は他県に比べて住宅への思い入れが強いといえましょうが、皆さんは家づくりをどんなふうに考えますか？

雪に強い住宅づくり

快適な居住性を求めることは、住む人の生活に対する強い意欲の表れです。心のゆとりが叫ばれている現在、ゆとりを生むライフスタイルを住居について考え、家の中ばかりでなく、良い住環境に住む人達の話し合いて、地域にあった調和ある美しい街づくりを推進していくのも時代の要請といえます。

こうした流れのなかで、県では、快適な居住性と良好な住環境を旨とするいろいろな住宅政策を行っています。

その一つに雪に強い住宅づくり政策があります。これは昭和五十八年より行われているものですが、今までに二メートルの積雪に耐えるモデル住宅や屋根に消融雪設備をつけた



モデル住宅などを建築しています。

屋根の消融雪設備の余熱を利用して冷暖房や風呂に

私は富山市の月岡にあるこれらの住宅を見学してもらいましたが、なかなか洒落た感じがして、屋根の消融雪設備の余熱は冷暖房、風呂等にも使えるということ、今、注目を浴びています。県には、克雪住宅融資制度があり、雪に強い住みよい家づくりを積極的に進めています。

また、ここ月岡の住宅地は、調和を考えた街づくりを行っています。県の指導のもと、住民の合意による建築協定を結び、生垣の採用、家屋の隣地境界からの後退等の基準を作っています。緑が多いことが印象的で、各家の工夫が随所に感じられました。街全体で見られることを意識した住宅を心がけているようです。これからのモデルケースといえるでしょう。

建物が生活のあり方を訴えている。

さて、昨年一九八七年は国際居住年でした。その記念事業として「富山の建築百選」が選定されました。富山の建築文化を探るといふ意味において、非常に意義があったと思います。今回はその中から二軒を見せてもらいました。

落ちつきのある住宅という点で、大門町の吉田邸です。明治の匠の精魂こめた仕事



レポーター募集

「レポーターをしてみたい」「県政のあんなところ、こんなところをみたい」「あなたは県庁広報課までご連絡ください。あなたの参加をお待ちしています。」

ぶりがうかがわれ、今だに見る人を魅了します。一方、近代建築という点では、小杉町の高島邸です。生活機能の追求や自然との一体感を重視する姿勢がうかがわれます。建築物の方から生活や精神のあり方を訴えているかのようです。

住宅は、安定生活を営む最も基本となるもの。自分の家や周囲をもう一度、見直してみませんか。

ふるさと
みてある記

大門町

越中大門と言えはなんととっても風まつりが有名。今年もまた盛大に風まつりが繰り広げられ、天高く大空に舞いあがった幾百もの風。その中には根っからの風好き人間、宮崎保さん(47)の風もあった。

夢、天高く、 大門風め会



「風は子供の頃からずーっとあげとった。でも本格的に始めたんちや十年くらい前からかな。宮崎さんは風あげのブコ。日本全国で約千人余りいるという日本風の会の一員だ。「皆さんのなかには、今どき『風あげ』なんてと思われ方もいるかもしれんけど、少しでも高く、少しでも上手にあげようと思うとほんとに難しいがいちゃ。これは風手子だけにしかわからんおもしろさかもしれんけどね。」



宮崎さんの仕事はたまたみやさん。仕事場には仕事道具に混じって風がところどころにある。むろん、好きな風をいつでも見られるようにとの配慮があることだ。そして、ひとたび風づくりを始めると、すぐに十二時くらいになつてしまうこと。

「昔、大きい風作りたて何度も白根(新潟県)に行つたもんやちや。作つとるとこ見てそれから自分で作つてみて、うまくいかなかつたらもう一回白根へ行って習つてきて…。時間もお金もかかたけど、これが唯一の道楽みたいなもんやからねえ。」

宮崎さんが今、挑戦しているのは鳥風。何回



も挑戦したが、なかなか納得のいくものができない。
「ここ大門ではヘタな風はあげれんがいちゃ。風をひとつあげると人目をひくし、風のつくりみて、風仲間から電話がかつてくるし…。風どころでは風のテストもたいへんだ。」
「そうやねえ。今は鳥風、ムササビ風、あと豆電球で光るような風もあげてみたいねえ。」という宮崎さん。
風づくりに燃える宮崎さんの夢は天高く大空にはばたいている。

味で勝負。

越中富山のマスカット

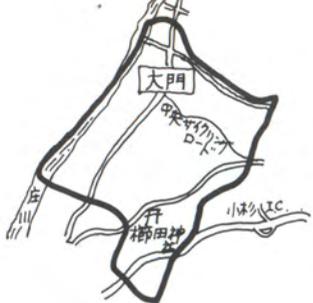
「このハウスのなかの樹は二本。五年くらいで一人前になるんですよ。」というのは、丸池の荒木龍憲さん(38)。十三年前、大門町が特産の里の「マスカットの里」に指定されたのをきつ



大門町の概要

面積 21.62km²
人口 12,415人 (63.4.1現在)

県の中央北部に位置し、射水平野の穀倉地帯の一角を成す。毎年5月の第3日曜日には全国的に有名な越中だいまん風まつりが行われる。最近、公営浴場「大門コミュニティセンター」や総合会館ができ町は活気にあふれている。



けに、ひとつやってみようかとの冒険心でマスカット栽培を始めた。

「雨はマスカット作りの大敵。それだけに降水量の多い北陸での栽培は少し不安でしたね。」荒木さんのブドウ園は、二つの大きなガラスのハウス。これは雨をよけるため。

「そりや苦労は絶えないよ。お天気相手の仕事だからね。」と笑う荒木さん。ブドウの樹はデリケート。温度の変化や水の具合などで甘さが微妙に違ってくる。

毎年五月、小さなブドウの粒をつむ仕事をしている。これは将来、ある程度大きくなる粒を見極めてそれを残し、ブドウの房をある程度力ツコよく粒ぞろいにする作業だ。

「へそまがりだめだね。へそとは花が落ちた後に残るしんのようなもの。これがまっすくなのが将来大きくなるですよ。少しでも味がよく、かつ見ばえのよいものにしようと奮戦中だ。」

緑の宝石のようなマスカット。栽培は手がかかるが、それだけ高くも売れる。「やつぱり、本場岡山に少しでも近づかないと。」富山県は現在マスカットの収穫第三位。だが、主産地の岡山、香川には大きく水をあげられている。

「富山が頑張つて少しでもいいものを市場に出せば、岡山もいいものを出荷せざるをえなくなる。そうやっていい競争をしていきたいですね。」より良いものをと研鑽に余念がない荒木さん。大門をマスカットの里として有名にしたいと意欲的だ。

ピチ。ピチ。鮎を手作りで

大門漁協鮎養殖場

庄川のピチピチの鮎はここ大門が本場だ。鏡時夫さん(38)はここの鮎の養殖に携わっている。

「今年はほぼ二〇〇キロ(三十五万尾)を放流予定。去年よりも少しこぶりかな。大門町に鮎の養殖施設ができて四年目。二月頃に体長四、五センチの鮎の稚魚を琵琶湖から購入し、五月中旬までに体長一、二センチくらいに育てて川に放流する。去年は過去最高の二、三七〇キロを放流した。」

「県内ではこの他に三カ所鮎の養殖やつとるけど、やつぱり、庄川育ちの鮎が一番やね。」この庄川の鮎、体はちよつと小さめだが、味は抜群だとか。

「庄川は他から流れ込む川が少ないから水がきれいなんです。家庭排水も少ないし工場排水もほとんどない。水がきれいな分、鮎に臭みが



みんなで防ごう、土砂災害

6月は「土砂災害防止月間」です

土砂災害って知っていますか？

土砂災害には、大きく分けて三つの種類があります。

土石流

多くの土や砂、石などが水を含んで時速二十〜四十キロメートルものスピードで文字通り「流れ」てくるものを言います。急な谷川の出口となる扇状地に多く発生します。

地すべり

地中にある粘土などのすべりやすい層を境にして、そこから上の地面がそっくりすべるものです。

ふだんはすべる速度が遅いため、ほとんど気付きませんが、池や井戸の水が急に減ったり、濁ったりした時には、急にすべる速さを増すことがあり、注意が必要です。

がけ崩れ

切りたつたがけばかりでなく、三十度以上の傾斜のがけは危険です。がけは崩れ始めると、一気に崩れ落ちてしまうため、斜面から急に水がわきだしたり、小石がバラバラ落ちるなどの徴候があったときには、すぐに避難しましょう。



2、大雨の時は要注意！

例えば土石流なら、場所によって違いますが降雨量が一時間に二十ミリメートル以上、または降り始めてから百ミリメートルを超えたら要注意です。また、長い雨の後に強く降ったりしたときも危険です。ふだんから気象情報に注意し、危ないと思ったら、早めに逃げましょう。

※百ミリメートルの雨とは？
降った雨をタライにためると深さがヤセンチメートルになります。



1、わが家の危険度を確認

まず自分の家のまわりをよく調べ、危険のあるなしを確認しておきましょう。

4つに備えて

万二に備えて



3、避難場所を決めておく

いざ災害が起きた時に、家族全員が家にそろっているとは限りません。ふだんから避難場所、避難経路を決めておけば安心です。

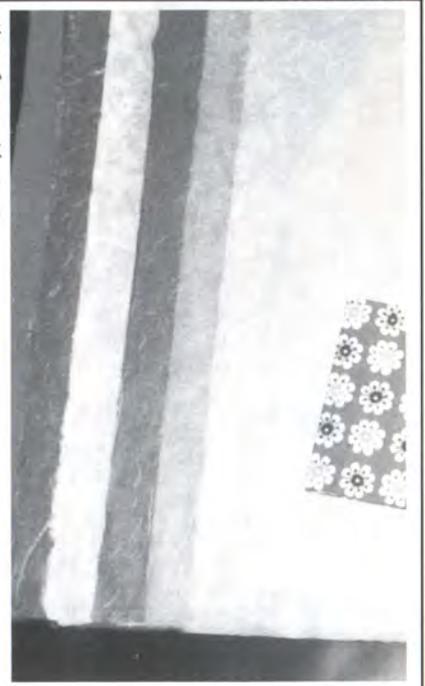
4、緊急避難の際には

土石流は、流下速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。流れと直角の方向に逃げるのが鉄則です。緊急避難の方法を、ふだんから心がけておきましょう。



土砂災害に関する写真展
とき/6月1日水〜8日水
ところ/富山西武8階

立山砂防工事見学会
とき/7月〜9月
※問い合わせは県庁砂防課へ



越中和紙が伝統的工芸品に

素朴な味わい

伝統的工芸品は



わが国の長い歴史と風土の中で育まれ、私たちの暮らしに豊かさや潤いを与えてきた工芸品のうち一定の条件を満たすものについて、国は「伝統的工芸品」として指定し、後継者の育成など各種の振興事業に助成しています。

県内では、これまで高岡銅器、高岡漆器及び井波彫刻の三品目がこの指定を受けていました(他にこれに準ずるものとして庄川挽物木地が伝統的工芸材料に指定されています)。今度新たに「越中和紙」が指定されることになりました。



製造工程と用途

越中和紙は、伝統的な技術・技法を含んだ十以上の工程を経て生産され、

すべてが簡単な工具・器具を用いるだけの手作業です。従って、素朴な味と丈夫さがその特徴で、用途も障子紙、記録保存用紙、印刷用紙、書画・版画用紙、染紙、もみ紙、包装紙等幅広く、さらに近年は様々な加工品も作られています。

越中和紙の起源は遠く奈良時代と言われます。江戸時代には富山・加賀両藩の保護を得て発展し、一時は県内で約六千人余がその生産に従事していました。しかし、社会情勢等の変化により、現在では八尾、平、朝日の三町村で八十五人がその伝統を受け継いでいるだけです。この三産地の和紙はそれぞれ八尾紙、五箇紙、蛭谷(びるだん)紙とも言われ、近年は相互に活発な交流が行われています。



※伝統的工芸品に関するお問い合わせは
県庁中小企業課
越中和紙に関するお問い合わせは
県農業技術センター山村特産指導所
(☎0764・54・2014)まで

今後の取り組み

現在、越中和紙に関する振興事業は、生産者全員が加入する富山県和紙協同組合を中心に行われており、県としても今後より一層の支援を行なうことにしています。

皆さんもこの機会に、和紙の持つ手作りの味を見直してみませんか。

●

なお、六月十日(金)から十二日(日)まで、富山産業展示館で富山県伝統的工芸品展を開催します。

もっとスポーツを

県民スポーツ大学校開設

一流の指導者を招いてスポーツ大学校を開きます。身近にスポーツを楽しむ絶好のチャンスです。

- 定員／一会場二百名
- 申し込み締切り／各種目初日の一週間前
- 問い合わせは、各市町村教育委員会社会体育担当係または、県庁体育課へ



開設内容

種目	講師	会場	期間	対象
サッカー	メキシコオリンピックメダリスト 杉山 隆一	6月11日(土) 14:00~16:30	福野町 福野町民グラウンド (雨)福野町体育館	青少年
		6月12日(日) 9:30~11:30	富山市 五福公園五福スポーツ広場 (雨)富山中部高校体育館	競技者
		6月12日(日) 13:30~16:00	大沢野町 大久保小学校グラウンド (雨)大久保小学校体育館	青少年
バスケットボール	モントリオール ミュンヘンオリンピック選手 阿部 成章	7月9日(土) 14:00~16:30	砺波市 砺波市体育館	競技者
		7月10日(日) 9:30~11:30	朝日町 朝日町民総合体育館	青少年
		7月10日(日) 13:30~16:00	黒部市 桜井高校体育館	青少年
健康体操	ローマオリンピック選手 望月紀美子	7月23日(土) 14:00~16:30	上市町 上市勤労者体育センター	婦人
		7月24日(日) 9:30~11:30	大島町 大島勤労者体育センター	親子
		7月24日(日) 13:30~16:00	福岡町 福岡中学校体育館	婦人
テニス	全米テニス選手権大会 ダブルス優勝者 宮城 淳	10月1日(土) 14:00~16:30	高岡市 高岡短大テニスコート (雨)高岡市民体育館	競技者
		10月2日(日) 9:30~11:30	滑川市 みのわテニス村 (雨)サン・アビリティーズ滑川	一般
		10月2日(日) 13:30~16:00	宇奈月町 中ノ口緑地運動公園テニスコート (雨)宇奈月中学校体育館	一般
スケート	元オリンピック代表選手 渡部 絵美	11月26日(土) 14:00~16:30	富山市 富山スケートセンター	一般
		11月27日(日) 13:30~16:00	高岡市 高岡スケートセンター	一般

食の器と道具展

原始・古代から中世にかけての土器や調理具などを通して、社会や食生活の変化を探ります。

- 会期／六月六日(月)～十月二十二日(土)
- 場所／埋蔵文化財センター



県展

県内在住及び本県出身者から出品された、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真を展示する本県最大の公展です。

- 期間／六月十一日(土)～十七日(金)
- 場所／富山県民会館

募集

あなたのまちの美しい緑花スペース 「花と緑の街かど賞」コンクール

- *対象／街路に面して花と緑の美しい景観を提供している場所
- *応募資格／自薦、他薦を問いません
- *応募締切／六月三十日
- *応募方法／推薦場所、応募者の住所氏名を記入の上、カラー写真(ポスト

- サイズ又はキャビネサイズを一枚添えて下さい。
- 送付先／〒939-127 婦中町上轡田42 (財)花と緑の銀行



婦人問題に関する意見文募集

- テーマ 「西暦二千年に向けての私のメッセージ——男女共同参加型社会の形成をめざして」
- 対象 テーマについて関心を持つ人(年齢、性別は問わない。)
- 内容 テーマに即したもので、西暦二千年の自分自身や家族、あるいは職場、地域、社会の姿を展望して、男女が共に生きる社会をつくるための意見、要望、夢、計画など具体的なもの。
- 締め切り 六月三十日(休)
- 文字・用紙 千字程度。四百字詰原稿用紙(B5横書)
- 応募・問い合わせ先 県庁婦人青少年課 婦人係



県民パソコンの集い

- 期間／半日三回。毎月開催しています。
- 場所／富山県情報教育センター

※問い合わせは情報教育センター(☎0766-56-7161)へ



受講生募集

県民大学校

暁天講座

7月4日(月) 富山医科薬科大学教授 辻 陽雄
 5日(火) 富山大学教授 山口 博
 6日(水) 県立技術短期大学教授 足立原 貫
 7日(木) 富山科学文化センター館長 長井 真隆
 8日(金) 相愛大学学長 中西 智海
 9日(土) 話力研究所北陸支所長 吉友嘉久子



●時間 午前六時半～八時
 ●会場 県民会館三〇四号室
 ●定員 二百名
 ▼申し込み 六月六日(月)より、富山県生涯学習センター(☎0764・41・6135)へ。定員に達し次第締め切ります。

夏季講座

富山会場 午後六時～七時半 県民会館大ホール 定員千名
 7月18日(月) 評論家 竹村 健一
 19日(火) 東京大学名誉教授 今道 友信
 20日(水) 共立女子大学教授・エッセイスト 木村 治美
 21日(木) 国立がんセンター病院長 市川 平三郎
 22日(金) 評論家 屋山 太郎
 高岡会場 午後六時～七時半 高岡文化ホール 定員七百名
 7月25日(月) 東北大学電気通信研究所長 西澤 潤一
 27日(水) 女優・鳥取女子短期大学客員教授 村松 英子
 28日(木) 東京経済大学教授 色川 大吉
 29日(金) 薬師寺管長 高田 好胤
 30日(土) 本因坊 武宮 正樹

▼申し込み 六月十三日(月)より、資料代五百円を添えて富山県生涯学習センターまたは、高岡市社会教育課へ。定員に達し次第締め切ります。



不正大麻・けし 撲滅運動

7月14日まで

大麻は、一般に「あさ」と呼ばれ、幻覚物質が含まれているため、栽培するには許可を受けなければなりません。
 また、けしには「ひなげし」のように植えてよいものと、「アヘン」を含んでいるため栽培が禁止されているものがあります。

例年、植えてはいけないけしを間違つて觀賞用に栽培している例が見受けられますので、注意してください。

なお、これらの大麻やけしを発見した場合には、最寄りの保健所か警察署へ連絡してください。



採用試験

※問い合わせは、富山県人事委員会任用課(☎0764・41・6166)へ。

【富山県職員上級試験】

●職種 行政、土木、農業等
 ●受験資格 昭和三十六年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生まれた方。

●第一次試験 七月十七日(日)

▼申し込み締切り 六月十六日(木)

【警察官A】

●受験資格 昭和三十六年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生まれた男子で、大学を卒業した方又は昭和六十四年三月までに卒業見込みの方。

●第一次試験 七月三十一日(日)

▼申し込み期間 六月十七日(金)～七月七日(木)

昭和63年6月街頭献血

日	曜	場 所	時 間
1	水	八尾町役場前	10:00～15:30
2	木	上平村福祉センター前	13:00～14:30
		上平村山村開発センター前	14:45～16:00
4	土	富山西武前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
5	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
6	月	砺波市役所前	10:00～15:30
11	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
		氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
12	日	富山西武前	10:00～16:00
13	月	福光町役場前	10:00～15:30
17	金	立山町役場前	10:00～15:30
18	土	高岡駅前	10:00～15:30
		富山駅前	10:00～16:00
19	日	富山市中央通り	10:00～16:00
21	火	福野町役場前	10:00～15:30
23	木	福岡町役場前	10:00～15:30
25	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
26	日	高岡駅前	10:00～15:30

県政の動き

4月11日～5月10日

- 4月11日 県土美化推進県民会議
- 4月14日 一般国道304号新蔵原トンネル開通式・竣工式
- 4月16日 婦人週間のつどい
- 4月19日 知事のまちなまり・語るつどい(宇奈月町)
- 4月20日 苗木街頭配布



鯉のぼり掲揚



- 4月22日 近代美術館「サム・フランシス展」(~6月19日)
- 4月23日 花ごよみ花壇オープン
- 4月26日 知事のまちなまり・語るつどい(大沢野町)



- 4月29日 とやまフラワーアート(~5月1日)
- 5月3日 ボーイスカウト富山県大会



- 5月9日 「とやま賞」贈呈式



- 5月10日 第39回富山県植樹祭

まちなみ

滑川から国道八号線を右折して、海岸沿いに車を走らせ、旧北陸道を西にむかうと白岩川に至る。その手前に富山市水橋地区がある。ここは古来、軍事・交通上の要衝の地であったという。この地区の所々に今もなお旧街道の面影が残っており、折れ曲がった小路やオールドスタイルの家並等が存在する。

家並は街道に沿って壁面が通り、屋根の向きや勾配が揃っている。外壁は柱や下見板を現わし、他は漆喰で仕上げられて、漆喰の白と木部の黒のコントラストが窓の形などと調和し、歴史の重みを呈している。

● 高度成長期以降、あらゆる分野において物事が目まぐるしく変革し、一つの物が長く留まることは珍しい。経済性、効率性、機能性等が優先され、結果として人間性や地域性の持つ味はますます片隅に追いやられてしまう。

この街なみのように、いかに文化的であろうと、又後世に伝える価値があろうとも、周囲がそれを認め、暖かく育てる環境が存在しなければ、時勢や土地の重みに負けてしまうだろう。

まちなみには文化がある。そして文化は生活のうらおい。

絵と文・中 洋生



コース 地区	いきいき親子 (個人、団体)	水とのふれあい (個人のみ)	健康ファミリー (個人のみ)
富山	7/29、8/5、8/22 (木工実習等)	8/5(黒部川、湧水等) 8/3(常願寺川、マリモ等)	8/18(オリエンテ リング、軽体操等)
高岡	7/27、8/3、8/10 (パソコン実習等)	8/1、8/8 (庄川、高岡のあしつき等)	8/9(練習船乗船、 体力チェック等)
魚津	7/27、8/3、8/10 (ミニスポーツセミナー等)	7/22 (常願寺川、立山のマリモ等)	8/19(オリエンテ リング、軽体操等)
砺波	7/29、8/5、8/24 (パソコン実習等)	7/21 (黒部川、湧水等)	8/11(練習船乗船、 体力チェック等)

小学校四、六年生と親が対象です。申し込み、問い合わせは県庁広報課または各地方県民相談室へ。



みなさんの相談窓口

県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080

覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904

暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110

このほか各警察署でも受け付けています。



60 TV

テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
- 6/5 地域の輪はスポーツから
- 6/12 自然のフルコースをからだいっぱい!
- 6/19 家族みんなで健康チェック
- 6/26 つくり、育てる漁業
- 7/3 富山の河川を良く知ろう
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

見てください・聞いてください、県からのホットニュース

RADIO

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
- 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

N P NEWS PAPER

新聞広報

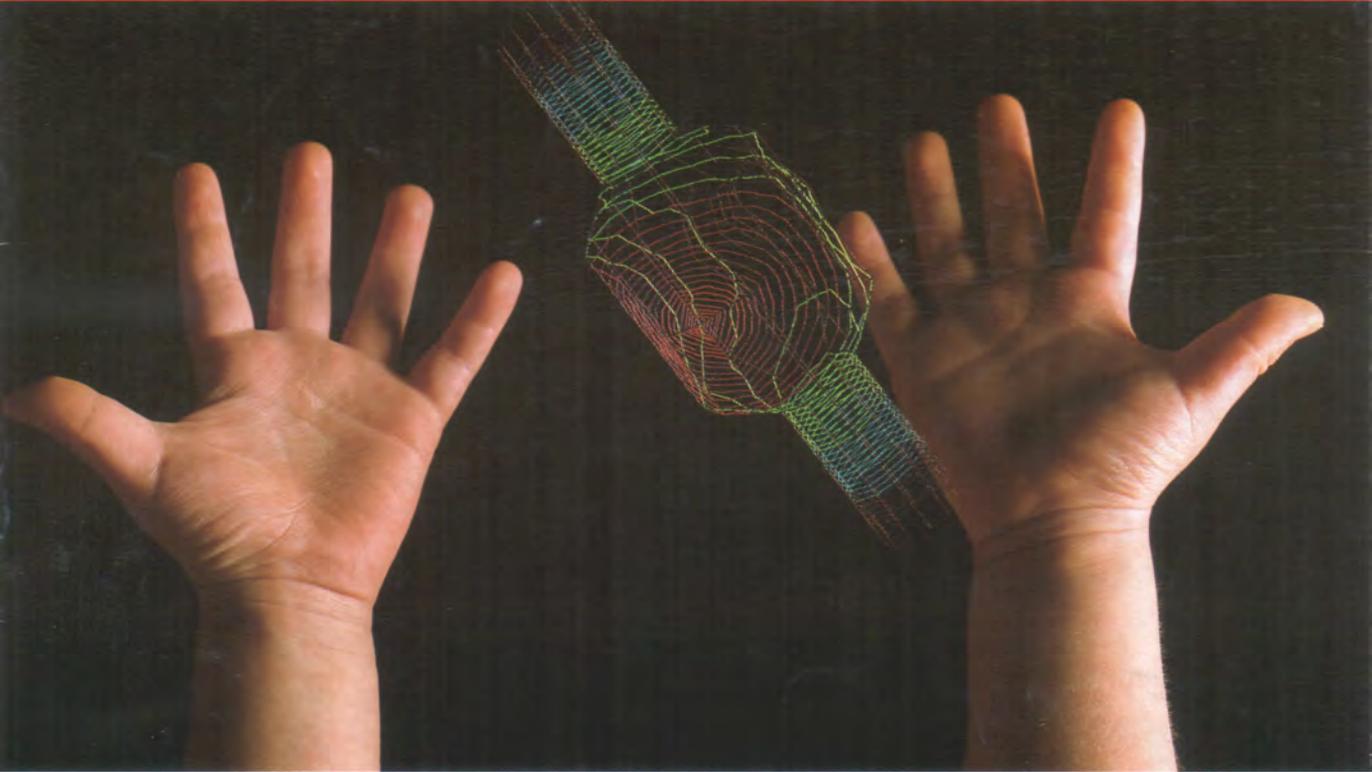
- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

★今月は、まちづくりを特集しました。一口にまちづくりと言っても、ハードからソフトまでやり方はいろいろ、とても幅広いものです。紹介しきれませんでした。県内にはまちづくりを真険に考えている方がたくさんおられます。取材て話を伺っていると、意外な面が見えてきて、各町が大好きになりました。

★「何しとらよ。はよ来んかい。」入善町の嶋田さんは、公園のヨイがかわいくて、かわいくて。手をたたけば皆寄ってきます。この公園の便所は、一番に掃除しているだけあってとてもきれいだ。あんな入ってみられるか」と進められました。今回は遠慮させていただきました。





もとのもとは土くれだった。
シリコンもまた
母なる大地の生み出したもの
もとのもとなかったら
人間は何ひとつつけれない。

もとのもとは二本の手だった。
ロボットもまた
私たちのからだが生み出したもの。
もとのもとなかったら
人間はみづからを見失う。(講談社大図典より)

《あらすじ》3年前、富山技術開発財団の指導のもとに県内プラスチック製造会社、コンピューターシステムハウスを含む18社が共同研究組合を設立し、AI（人工知能）を導入した製品及び金型のエキスパート・システムの開発に取り組んだ。従来から熟練技術者の経験とカンに頼って行われてきた金型設計や成形を、人工知能によるシミュレーション・システムによって科学的に行えるようにしようというもの。開発チームに、県工業技術センターと富山大学も加わり、データの集積や研究、技術交流が地道に続けられた。そして、この春、そのエキスパート・システムによるプラスチック金型の試作品第一号が完成した……。全国初の地域共同研究にスポットをあてながら、先端技術に取り組む技術者と21世紀の技術立県をめざす富山県のハイテク最前線を描いている。

県政広報映像ライブラリー

■イメージアップ・ビデオ

- 「海の神話」(15分)
- 「水の王国」(15分)
- 「伝承の世界」(15分)

●広く皆さんに貸出します。 お問い合わせ・お申し込みは、県庁広報課へ。

■県政映画 (ビデオもあります)

- 「しぶきに翔べ」(28分30秒)
- 「カイニョウは生きている」(28分30秒)
- 「もとのもとは二本の手」(28分30秒)

■PRビデオ

- 「立山・黒部」(15分)
- 「富山空中散歩」～立山・剣岳 (23分)
- ～黒部峡谷 (22分)

ハイテクを担う群像

●●
2816
分
30
秒
ミリ
カラ
ー
フイ
ル
ム

もとのもとは二本の手

県政映画

セミ・ドキュメンタリー